

# いざき大義 市政報告書

## vol.2

### ご挨拶

2025年に北九州市議会議員選挙に当選して一年が過ぎました。この間、開催された全ての市議会定例会に登壇して質問を行い、未来志向の政策提言を重ねてまいりました。

また、無所属議員5名による新会派「北九州会」を新たに結成したほか、市民の皆さまから寄せられたお困りごとの解決や国内外の先進事例調査、イベント登壇、講演など多岐にわたって活動を展開いたしました。

人口減少、物価高、まちの安心・安全など、まだまだ課題山積の北九州市。

最年少の市議会議員として、若者世代・現役世代はもちろん、幅広く市民の皆さまのお声を受け止め、北九州市を前へと進めるべく、引き続き議員活動に励んでまいります。

## 新会派「北九州会」結成！！



令和8年2月、**新会派「北九州会」**を結成しました。所属議員は本田一郎代表（若松区）、小金丸かずよし副代表（八幡東区）、奥村直樹幹事長（門司区）、小宮良彦議員（戸畑区）、そして伊崎大義（小倉北区）の5名となります。

北九州会は、国政政党には紐づかない**完全無所属の議員のみ**で構成されています。「地域志向」「現実志向」「未来志向」「大局志向」を基本理念として、皆さまのお役に立つチームを目指します！

▶現在の北九州市議会の会派構成。会派結成で議員数が増え、これまで認められなかった会議・委員会への出席や質問の権利を新たに得ました。

会派名	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	会派計
自民党・無所属の会	2	3	3	1	1	5	1	16
公明党	1	3	3	1	1	3	1	13
市民とともに北九州	1	3	3	1		2		10
日本共産党	1	1	1	1		2	1	7
<b>北九州会</b>	<b>1</b>	<b>1</b>		<b>1</b>	<b>1</b>		<b>1</b>	<b>5</b>
緑の風			1		1	1		3
日本維新の会			1			1		2
変革と成長						1		1
区別計	6	11	12	5	4	15	4	総計：57

※会派とは、同じ意見や考え方などを持った議員が集まって議員活動を行うために結成されたグループです。

## その他の活動報告

専門的な議論を行う常任委員会は「**総務財政委員会**」に所属し、自治会・町内会などの地域コミュニティ、他自治体との広域連携、ふるさと納税や基金といった財政の議論など、多岐にわたる項目について審議を重ねました。

また、イベント登壇や座談会、講演（北九州企業法務会さま『2050年を見据えた北九州の勝ち筋』、新北九州を考える会さま『エネルギーと安全保障から考える北九州』）など、貴重な発信や対話の機会も数多く頂きました。

お話しさせていただける機会がございましたら、お気軽にお声がけください！



▲総務財政委員会の行政視察に参加（左端）

# まちのお困りごと ご相談ください！

側溝を除草したいが  
グレーチングが  
固定されている。  
どうしたらいい？



**Q. どうやって伝えれば良いの？**

➡ 事務所へのご来所、メールやお電話のほか、各種SNSのDMからご連絡いただけます！

**Q. どんな内容でもいいの？**

➡ 道路の損傷対応やお子さまの登下校安全対策など、日々様々なご相談がございます。お気軽にどうぞ！

危険な交差点に  
右折信号を設置  
してほしい！



どこへ話せば良いかも分からない地域のお困りごとや生活に関するご相談、お気軽にお寄せください。最年少議員として迅速に対応します！！



日々の活動や告知は各SNSで発信中です！

Instagram Facebook YouTube TikTok



右の二次元バーコードをカメラアプリで読み込んでください。

## いざき大義事務所

開所時間 月・水・金 10:00~16:00  
(その他の曜日・時間帯は応相談)

住所 〒803-0841  
北九州市小倉北区清水4-1-33-102

電話 093-383-1781

FAX 093-383-2239

MAIL taigi.izaki@gmail.com

公式サイト <https://izaki-taigi.com>



南小倉駅から徒歩7分、清水交差点付近です  
駐車場をご利用の場合は事前にご連絡ください

# 議会質問のご報告

令和7年度は全定例会に登壇。  
早速、市の政策や次年度予算に反映された提言も！

6月

## マンホール広告の導入

武内市政が「稼げるまち」を掲げる中、自治体自身も「稼げるまち」となるべく、**税込以外の歳入確保策**として、**マンホール蓋に企業広告を掲載する広告事業の導入**を提案しました。

既に本市では郷土ゆかりの漫画家の人気キャラクターを描いたマンホール蓋の活用実績があります。導入ハードルは低いと見られる上、地場企業広告の掲出は地域企業の認知向上にも貢献するとして、導入に関する見解を求めました。



## 転入超過の要因分析について

昨年度、本市の社会動態が+492名となり、約60年ぶりの転入超過を達成しました。この要因を丁寧に分析し、この流れを持続・加速させることが重要です。

市外からの転入者を対象としたアンケートに基づく**要因分析の有無と内容**を確認し、令和6年度に新設されたマーケティング課を中心とした**マーケティング視点に基づく政策展開**の必要性について提起しました。

## EVスクールバスの活用

北九州市立小倉総合特別支援学校でEVスクールバスの運行が始まりましたが、スクールバスの性質上、休日や長期休暇中は稼働がありません。車両を民間へ貸し出し、発生した収入をリース料の一部に充当して財政負担を軽減するという**市の保有資産の活用策**を提案しました。

また、筑後市でEVスクールバスの不具合が相次いだ事例を踏まえ、同様の**トラブルに備えた具体的な対策の有無と内容**を尋ねました（※その後、各所における不具合多発に伴い運行停止となりました）。

9月

## Ⅰ型糖尿病を抱える児童生徒への看護師派遣について

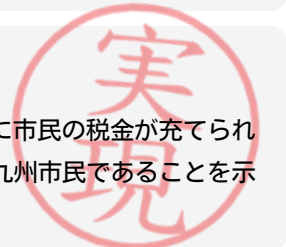
生活習慣とは無関係に発症するⅠ型糖尿病。まだ自分では注射が打てない年齢のⅠ型糖尿病の児童生徒に対しては、現在ご家族の方が直接学校へ出向いて対応しています。

保護者の負担が大きい中、自分でインスリン注射ができる年齢になるまで、**国の制度を用いて小学校への看護師派遣**をするなど、保護者の負担を軽減する施策の検討を求めました。



## 小倉城の入城料金見直し

小倉城の入城料金「350円」は、近隣の城と比較して安すぎます。不足する運営資金に市民の税金が充てられていることから、**時代に即した料金への見直し**を提案。また、他都市の例を参考に、北九州市民であることを示せば割引を受けられる**市民割引制度の同時導入**も併せて検討するよう訴えました。



## 地域猫のふるさと納税活用

野良猫対策として注目される地域猫活動ですが、不妊去勢費用が活動の大きな負担となっています。本市にも支援制度はありますが、利用ハードルが高く活用しづらいというお声を伺いました。

そこで、要件緩和はもちろん、**ふるさと納税を活用した地域猫活動への支援拡大、事業と寄附の紐づけ明確化**を提案しました。公衆衛生や住みよい地域づくりの観点で引き続き取り組んでまいります。



12月

## 20年後を展望した 中長期的な人口戦略について

令和7年11月、北九州市の人口が100万人を下回った可能性があるとして、各社の報道があったことを踏まえ、以下の3点を質問しました。



- 1 令和8年に公表予定の令和7年国勢調査の結果が分かり次第、人口問題をはじめとする各界の専門家を集めた会議体を設置し、**中長期的な人口戦略の策定**を行うべき。
- 2 出生率は未婚女性の流出によってむしろ上昇するという注意点を鑑み、出生率を用いることをやめ、人口指標としては**出生数のみを用いるべき**  
(※詳細は天野馨南子『まちがいたらけの少子化対策』参照)。
- 3 出産への不安を軽減すべく、東京都をはじめ一部自治体で無痛分娩への助成が始まっている。本市においても**無痛分娩を選択する方への助成金**を検討してはどうか。

## 台湾との国際定期便再開を 見据えた交流拡大について



北九州と台湾を結ぶ国際定期便を2026年8月以降に再開する見通しであることが報道されました。

令和6年の実績では台湾からの観光客数は韓国に次いで2位でした。定期便再開によりさらなる観光客増が期待できるほか、経済交流の活性化や、半導体後工程の世界最大手であるASE社の学研都市進出を後押しする上でも重要な機会となります。

定期便再開を見据え、**本市と台湾との交流を拡大する**ためにどのような施策を検討しているのかを尋ねました。また、国際便維持のために重要な**台湾へのアウトバウンド政策**について、本市としてどのように考えているのか、合わせて見解を求めました。

2月

## 北九州市のデジタル政策について

爆発的な進化を続ける生成AIについて、次の段階はAIとロボットを掛け合わせた「**フィジカルAI**」だといわれています。これは本市の強みが大いに生きる分野であり、新たな基幹産業になり得ます。

これをどう「稼げるまち」へと繋げるのか、市の見解を尋ねました。

また、ここ数年でIT企業誘致の実績が大きく伸びていますが、それにより**地元IT企業と仕事や人材の取り合いが発生していないか**を問い、そうした政策判断をより効果的に行うためにも**市役所における高度IT人材の採用形態を見直すべき**ではないかと指摘しました。



## 北九州市の環境エネルギー政策について

IT産業の根幹を支えるのがデータセンターであり、データセンターは莫大な電力を消費します。AIの進展によって世界的な電力不足が危ぶまれる中、本市には日本最大の洋上風力発電や高効率のLNG火力発電が立地しています。そうした環境性の高い電源を武器に経済成長を実現すべく、3点質問しました。

- 1 2011年度から積み上げられてきた**洋上風力の累積経済波及効果や雇用創出実績**を整理すべき。
- 2 薄くて軽い「ペロブスカイト太陽電池」に注目が集まっている中、本市も試験導入の予算を計上しているが、ただ導入するだけに終わらず、**製造拠点誘致やリサイクルの調査研究を進めてほしい**。
- 3 経済産業省が進める「**GX戦略地域**」について、選定結果に左右されず腰の据えたビジョンを策定すべき。